

平成28年 12 月 18 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 愛知県立瑞陵高等学校・西森俊之
2. 講師氏名: Cristin C. CASTILLO 博士 (Ms.)
3. 同行者氏名: 池本 麻衣 様
4. 実施日時: 平成28年 12月 14日 (水) 13:45 : ~ 15:25
5. 参加生徒: __年生 __人、 2年生 39人、 __年生 __人 (合計 39人)
備考: 普通科理数コースの生徒
6. 講演題目: (英文) A Filipino Archaeobotanist in London
(和文) ロンドンにいるフィリピン人の考古植物学者
7. 講演概要:
 - ・先生はスペイン人の母親(教師)、フィリピン人の父親(画家)の間に生まれ、フィリピンで、大学卒業まで育った。子どもの頃から考古学に興味があったが、専門的に研究する機関がなく、大学では経済学とマーケティングを専攻。大学卒業後、教師、会社員として正解を舞台に活動。
 - ・その後、子どもの頃に興味があった考古学への思いが復活し、イギリスで勉強し、博士を取得。専門は考古生物学。
 - ・先生の研究では、稲が研究対象。古い植物の発掘調査を通して、地域的あるいは歴史的環境変化や人類との関わりを理解しようとしている。講演では、研究対象である稲の様々な種類(野生稲や人間が手を加えた稲、発掘された炭化した稲)を展示、紹介してくれた。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 80分 質疑応答時間 10分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演・研究に使用するサンプルを手にとって観察
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者による日本語説明を難しいところに入れた
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

なし

10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金

11. その他特筆すべき事項: